

論文投稿などの発表時に気をつけること

(R5 SSH 意見交換会オンデマンド配信 研究倫理講座資料より)

□自分が所属する研究機関の倫理綱領の内容を確認していますか？

←大学や研究機関等の指導を受けている場合はその大学・機関の、中高校で行っている場合は中高校の指導者に聞いてみましょう。

□自分が所属する学協会の倫理綱領や論文投稿規定の内容を確認していますか？

←応募するコンテストや、投稿する論文誌の規定に則って応募・投稿を行う必要があります。
コンテストへの応募も、一つの成果発表であり、論文投稿と同じ意識が必要です。

□再現性があることの確認をして発表していますか？

←再現性は科学研究の基本ですが、分野によって定義や扱いが異なりますので、まずは調べてみましょう。

□生データ、実験で扱った試料、実験ノートの保存・管理はできていますか？

←実験ノートやフィールドワークでの野帳などは、データの信頼性を確認する際に必要となるため、きちんと作成・管理しましょう。

□共著者を含んだものについては、それぞれが寄与した部分を当事者間で確認し、その内容に共同の責任を負うことに合意はとれていますか？

←コンテスト応募や論文投稿を二人以上で行う場合、問題発生時に全員で責任をとる必要があるため、しっかり話し合っておきましょう。

□投稿誌の二重投稿規定に抵触していないことを確認していますか？

←たとえば、「未発表のものに限る」と定められているコンテストには、他コンテストに応募中のものは二重応募できません。

□二重投稿や盗用とならないように、既に発表されている著作物の表現や内容については、引用であることを示していますか？

←他人の文章や結果の登用はもちろんダメですが、自分が過去に発表した結果であっても、出典を明記しなくてはなりません。